

調査団報告書

調査No.30

調査内容

城山三郎さんの短編小説「鳩侍始末」を読んだよ。尾張藩第11代藩主徳川斉温が鳩を愛好していたことがベースになっている小説なんだけど、その元となったエピソードについて書いてある資料ってあるのかな？

調査手順

まずは、「鳩侍始末」を確認。参考文献はなし…と。斉温個人の伝記の類も見つからない…。『名古屋市史 人物編上巻』を見ても、斉温の項目に鳩についての記述はない。でも、『同 政治編1』を見るようになって書いてある。見てみると…あった！ 物語と同じで、数百余りを飼養していたことや、石川魯庵に諫められてことごとく放ったと書いてある！

魯庵からも調べてみよう。『同 人物編下巻』を見ると…あれ？ ここにはお気に入りの数羽を残したって書いてあるぞ？

『政治編1』と『人物編下巻』の典拠資料を確認してみると…。『圓陵随筆』に該当記事を発見！ “其最も愛シ玉フ所數翼ヲ餘スノミ”って書いてあるから、全部を放った訳ではないようだ。

他にもないかな…と調べていると、『尾張著述家綜攬 補訂版』に魯庵の逸事として「逸事舊聞」なる典拠を発見!! 収録している『汲古3』を確認したら、その典拠は『圓陵随筆』だった。

調査結果

調査の結果、『圓陵随筆』が見つかったよ！ でも、これは逸事の類で史実かどうかははっきりしない。だからこそ、「鳩侍始末」が生まれたのかも！？

<参考文献>

「鳩侍始末」(『逃亡者』所収)、城山三郎/著、新潮社、1991年

『名古屋市史人物編 上巻』、名古屋市/編、国書刊行会、1981年、p. 49

『名古屋市史 政治編1』、名古屋市/編、愛知県郷土資料刊行会、1979年、p. 183-190

『名古屋市史人物編 下巻』、名古屋市/編、国書刊行会、1981年、p. 263-265

『圓陵随筆』、宮田敏/著、名古屋市史編纂資料<市2-9>、16オ-16ウ

『尾張著述家綜攬 補訂版』、太田正弘/編、太田正弘、2005年、p. 21

『汲古3』、汲古會/編、汲古會、1923年、p. 45

